

特集

施設看取りを実践しよう 連携で支えたい大切な最期

高齢少子多死時代を迎え、高齢者施設・住宅での看取りは今後ますます増えるだろうと予測されます。高齢者施設・住宅は、訪問先である「自宅」のすぐ隣にある高齢者の「住まいの場」であり、訪問看護師へのニーズが高い場所です。

本特集では、「施設・住宅看取り」に必要な知識と実践スキルをアップデートするとともに、各施設との連携事例から「質の高い看取り」を支えるためのポイントをまとめます。

【流れを読む、意義を知る】

施設看取りに関する政策動向と、知っているようで知らない

「高齢者施設」の基礎知識●福井小紀子

高齢者向け住まいにおける看取りの現状と展望●長田洋

【訪問看護師・施設看護師に求められるスキル】

介護職員が発する「不安を表す言葉」を拾おう●島田千穂

「極力手を出さない」という高度な実践●川崎千鶴子

【連携した事例から】

①グループホーム×訪問看護

10年にわたる相互の丁寧な歩み●中島朋子、大橋雅子

②特別養護老人ホーム×訪問看護

がん患者の最期の日々を手厚くケアしたい●田口将人

③サービス付き高齢者向け住宅×訪問看護

「ここで生きたい」を支える連携●麓玲子、橋爪健二

看取りを支える場と人の本質●下河原忠道

※一部変更となることがあります。

編集後記

横 網級困難ケース。「おお……」と息を漏らしながら読みました。困難性を支援対象に押し付けるのではなく、自らの対応や関係性に意識を向け直すと見え方が変わってくるのがよくわかりました（私生活にも活かそう）。▶看護師と利用者の1対1の関係性で見てしまいがちですが、どんな同僚がいて、どういう雰囲気の職場で、組織はどういった理念に貫かれているのかといった、支援する看護師を取り巻く環境的な要素が、その関係性に与える影響は小さくないだろうと感じます。そう考えると、小瀬古さんの組織はきっと素晴らしいところなのだろうと想像します。…小池

約 10年前、雑誌『精神看護』を担当しており小瀬古さんにはお世話になっていました。その頃から、本をよく読まれ、それを正しく捉えようとして療養者に対する自分の実践を真摯に重ね、振り返る——論理性と感性を兼ね備えた丁寧な方だなと思っていました（メダルを取ったら急に「遠い親戚です」みたいな感じがすいません）。困難と混乱を切り分け、看護の道筋をつける技と型は「丁寧さ」からこそ編み出されて来られたのだろうと。あらためてこの度の出版をお祝い申し上げます！…米沢

本 号で、幡野広志さんのフォトエッセイと、たむらあやさんの漫画が最終回を迎えました。素敵なページをありがとうございました！…伊藤。

訪問看護と介護 第24巻 第12号（通巻282号） 2019年12月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2019, Printed in Japan

1部定価：本体1,500円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／15,600円（冊子＋電子版／個人）／12,600円（電子版／個人）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

「JCOPY」 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。